

只木ゼミ前期第 10 問

医師である甲は、日ごろから同じ病室の患者らに嫌がらせをして頻繁にトラブルを起こし、甲に対しても非常に高圧的な態度をとる A を、不快に思っていた。

そしてある日、甲が A に嫌味を言うなど軽く挑発したところ、逆上した A は甲に向かって唾を吐き、甲の頭部を素手で叩くなどした。この A の行為に腹を立てた甲は A を殺してやろうと思い、看護師である乙に適量を超えるモルヒネ入りの注射をさせた。注射した直後に、A にはモルヒネ過量投与の副作用により、呼吸困難の症状が現れ、20 分後、A は死亡した。

なお乙は、甲が、A のことをよく思っていないということを知っており、さらに注射する際、モルヒネの量が多かったことに気付いていた。

甲及び乙の罪責を検討せよ。